



朝晩に、涼しく気持ちのよい風も吹くようになり、ようやく秋の気配を感じられるようになってきました。

先月は蒸し暑い中でしたが、アレルギー大学ベーシック講座の愛知、岐阜、三重と、たくさんの方にご受講していただきました。学生の皆さんが多く参加されるこの講座では、これからの社会を支える方々にアレルギーを知っていただくことができ、大変うれしく思います。

是非、興味をもっていただき、今後も理解を深め、実践に生かされることを願っています。

===== も く じ =====

- 1、第11期アレルギー大学 研究実践実習・研究実践講座のご案内
- 2、リレートーク「クリニックの紹介」 第8回 まつだ小児科クリニック 松田正院長
- 3、「学童保育におけるアレルギー対応」研修会を開催します!!
- 4、浜松アレルギー対応1泊旅行のご案内
- 5、「食物アレルギーによるひやりはっと事例の調査アンケート」ご協力をお願い
- 6、食物アレルギーっ子的ための危機管理講座「経口免疫療法とアドレナリン自己注射器」のお知らせ
- 7、インターネットアレルギー大学のご案内
- 8、『おいしく治す食物アレルギー攻略法』大好評販売中♪
- 9、防災特集 アレルギーっ子の防災
- 第36回「防災講座ー15：地震対策を知る（避難行動の訓練）」防災士 中根輝彦
- 9、患者会主催！イベント報告
- ★「平成28年度豊橋市総合防災訓練の炊き出しについて」RINRIN♪豊橋アレルギーっ子の会 石川麻美子★
- 10、おすすめ♪勉強会・イベント情報のお知らせ
- ★「岐阜県内5カ所で行われるアレルギー患者家族の交流会について」
- NPO法人キッズスクエア瑞穂 理事長 梶浦良子★
- ★★「防災の勉強会のお知らせ」守山アレルギーの会 富永真記子★★
- ★★★「小・中学生のこどもを持つ親の交流会」★★★
- 11、「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ
- 12、Gooddo（グッドゥ）でアレルギー支援ネットワークを応援して下さい！！
- =====

1、第11期アレルギー大学 研究実践実習・研究実践講座のご案内

【研究実践実習】 11月12日(土)、13日(日)
アレルギー大学で習得した専門知識と技術をもとに、独自に研究実践した成果を発表する場です。
食物アレルギーマイスターを目指す方には特におすすめの講座です。

発表者の募集は締め切りましたが、受講の定員に若干空きがございますので、参加を希望される方はお早目にお申込みください。

【研究実践講座】 11月27日（日）
記念講演
若手研究者の発表
食物アレルギーマイスターを目指す受講生による研究実践報告
最新のアレルギー情報が満載の講座となっております。

◆今年の記念講演は、
宇理須厚雄先生の「食物アレルギーの最新情報」(仮題)

藤田保健衛生大学医学部 客員教授
うりすクリニック 名誉院長

岡藤郁夫先生の「環境アレルギーと免疫療法」(仮題)
神戸市立医療センター中央病院小児科

◆若手研究者の発表は、
アレルギーの最新の研究発表となります。

◆研究実践報告は、
食物アレルギーマイスターを目指されている方、アレルギーの普及啓発へのヒントが盛りだくさん。
若干、定員に空きがございますので、お早目にお申込みください。

皆様からのお申込みをお待ちしております。

2、リレートーク「クリニックの紹介」 第8回 まつだ小児科クリニック 松田正院長

三重県桑名市で小児科クリニックを平成5年12月に開業し、もう20年以上が過ぎました。昭和53年に三重大学を卒業、大学では主に、血液・悪性腫瘍を中心に勉強させていただき、大学院卒業後に松阪市民病院、天理よろづ相談所病院に勤務、桑名では、ヨナハ産婦人科病院にて、主に未熟児・新生児と一般診療に従事した後に「まつだ小児科クリニック」を開業しました。

クリニックのご紹介をさせていただきます。当院では小児科・アレルギー科を掲げていますが、僕は小児科専門医ではありますが、アレルギー専門医ではありません。従って、診療内容は地域医療を念頭におき、困っているお母さんに安心を与え、納得のいく医療と説明をスタッフ共々心がけ、提供できるようにしています。診療内容は多岐にわたっています。乳幼児健診、予防接種、一般診療では、感染症などの一般診療がほぼ中心ですが、アレルギー疾患、低身長などの内分泌疾患、けいれん児に対する脳波検査なども行っています。

しかし、一般診療の中でも、気管支喘息、食物アレルギーなどのアレルギー疾患の患者さんは多く、気管支喘息は、LTRAやICSによってコントロールすることが比較的可能になりましたが、食物アレルギーに関しては、特異的IgE抗体によるプロバビリティーカーブから原因と考えられる食物を除去するだけでは、どこまで食べられるのか、除去を続けるべきか判断が難しく、必要のない除去を続けているのではないかという疑問と反省がありました。そこで、アレルギー疾患の診療に関して、2013年11月から2014年1月まで、現在の国立病院機構三重病院院長である藤澤隆夫先生にお願いし、週1回病棟と外来を見学させていただきました。病棟では、実際に食物負荷試験を見学させていただくことで、負荷試験の方法と誘発症状が出たときの対応の実際を勉強させていただきました。また、外来では、気管支喘息、アトピー性皮膚炎の患者指導及び、食物アレルギー児に対する食事指導などアレルギー一般の外来診療を学ばせていただきました。この様な時に、名古屋国際会議場で開催された第31回小児難治喘息アレルギー学会に参加すると、あいち小児保健医療総合センターアレルギー科が作成し、アレルギー支援ネットワークが発行している「おいしく治す食物アレルギー攻略法」という攻略本を頂けるというお話を聞き、小児難治アレルギー学会に参加、その先進的な内容に少なからずカルチャーショックを受け、アレルギー支援ネットワークが主催するブースで栄養士派遣事業の存在を知り迷わず派遣をお願いした次第です。食物負荷試験後の食事指導は、解除あるいは除去を続ける上においては必須のものであり、食事指導なくしては負荷試験もありえないので、非常に心強く思っていると同時に、患者さんにも大変好評で、僕自身も大変勉強になっています。

当院では、2014年2月から、2016年5月までの間に171例の患者さんに、計277回の負荷試験を行い、栄養指導もお願いしています。負荷試験及び食事指導は現在も継続中ですが、負荷試験陽性率は36.1%で、多くの患者さんが、食物除去の煩わしさから解放され、負荷試験陰性だったときの母親のこれで「食べれるんだ」という喜びはひとしおのものがあります。また、負荷試験で陽性であった児には、除去解除にむけた食事指導もお願いしています。この詳細は平成28年5月22日の第167回三重県小児科医会にて「当院における食物負荷テストの現状—開業医どこまでが安全か?—」という演題で発表させていただきました。その際、国立病院機構三重病院臨床研究部長尾みづほ先生、あいち小児

保健医療総合センター副センター長兼総合診療科部長伊藤浩明先生には大変貴重なコメントをいただきありがとうございます。 (「当院における食物負荷テストの現状—開業医どこまでが安全か?—」三重県小児科医会会報 2016 : 第 100 号 ; 16-25)

アレルギーに関しては、まだまだこれから学ぶべきことが多く、今後も皆様のご支援をいただきながら、少しでも食物アレルギーで困っているお母さんの一助になればと思います日々診療に頑張っている毎日です。これからもよろしくお願い致します。

【まつだ小児科クリニック HP】 <http://www.matsuda-kids.com>

3、「学童保育におけるアレルギー対応」研修会を開催します!!

園や学校におけるアレルギー対応は、国がガイドラインや手引きを作成し少しずつ進んでいますが、学童保育や放課後児童クラブなどでは国によるガイドラインは示されておらず、研修の機会も少ないのが実情です。

そこで、愛知学童保育連絡協議会とアレルギー支援ネットワークでは、あいちモリコロ基金の助成金を得て、アレルギー対応の手引き作成と研修事業を、3年計画で行っています。

今年度は、名古屋・豊橋・豊田の三箇所で開催します。申し込みは先着順になります。
メールマガジンの読者の皆様から、学童保育の指導員の方にご案内ください。

<開催日程・会場>

日程：2016年10月4日(火)9:30~12:00 (受付開始9:15~)

会場：豊田市福祉センター・4F 会議室 (定員 130 人) 豊田市錦町1丁目1-1

日程：2016年11月15日(火)9:30~12:00 (受付開始9:15~)

会場：豊橋市商工会議所・3F ホール (定員 160 人) 豊橋市花田町石塚42-1

日程：2017年1月24日(火)9:30~12:00 (受付開始9:15~)

会場：ウィングあいち 10F 大会議室 1002(定員 150 人) 名古屋市中村区名駅4丁目4-38

<講師>

名古屋短期大学保育科教授 小川雄二さん (認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク副理事長)

4、浜松アレルギー対応 1泊旅行のご案内

QOLトラベルさんが企画した浜松へのアレルギー対応 1泊旅行をご案内します。

<http://okazaki-allergy.net/wp-content/uploads/2016/09/176a434582f38b43431c87917c5324e3.pdf>

この旅行の目玉は夕食のビュッフェ!

コンコルド浜松の総料理長をはじめ、調理担当スタッフが腕をふるったアレルギー児には夢のビュッフェです。

日頃、食事に手を抜くことができないお母さん達へのご褒美旅行になればと思います。

「アレルギー児の親で良かった」と感じていただけますように...

旅行のチラシとディナーのメニュー (案) 以下でご確認ください。

食事の原材料や部屋などのお問い合わせ、ご質問はQOLトラベルまでお願いいたします。

※申込登録締め切り：10/8(土)

→10/8にweb登録画面があれば受付実施中です。

みんなで楽しい思い出が作れたら嬉しいです。すでに定員 (45名) の半分以上お申し込みがありますので、ご希望の方はお早めにお申し込みください。お申込み受付は先着順となりますのでご了承ください。

5、「食物アレルギーによるひやりはっと事例の調査アンケート」ご協力のお願い

アレルギー支援ネットワークでは、藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院小児科、近藤康人先生らの平成27年度消費者庁支出委任費研究各種食物アレルギーの解析および即時型食物アレルギーによる健康被害防止のための資料改訂事業にご協力をするために「食物アレルギーによるひやりはっと事例の調査アンケート」（以下「アンケート」と略します）を実施しています。

お答えいただきましたアンケートは、集計と分析を行ったうえで、事例集を発行いたします。
アンケートの回答はインターネット上からでき、所要時間は10分程度です。是非、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

【アンケートにご協力をお願いしたい方】

食物アレルギーの原因食品を食べたり、触ったり、吸入したりしたときなどに起きたトラブルについてお答えください。

◇患者ご自身、或いは、患者の保護者の方

◇園や学校などでトラブルがあった場合は、保育士・栄養士・調理員・教師が、その時の状況や対応についてご記入ください

◇お知り合いの方で、病院や外食産業など、保護者以外の方でもトラブルのご経験があれば、是非ご記入をお願いします

【アンケートの回答方法】

下記URLよりトラブルが起きた場面を選択し、アンケートにお答えください。

<http://www.alle-net.com/info/info06/info06-02/>

【アンケートの締切】

2016年10月31日

6、食物アレルギーっ子のための危機管理講座「経口免疫療法とアドレナリン自己注射器」のお知らせ

アドレナリン自己注射器「エピペン®」を処方されているので、しっかりとした講習を受けたい！

園や学校の先生にどのように説明をしたら良いか知りたい！

エピペン®を処方されているくらい重症だと、ずっと食べることができないのか心配。

経口免疫療法で食べることができるようになるのか知りたい！

そんな心配や知りたいにお答えする講座と実習をご用意しました!!

患者家族の方はもちろん、園や学校、自治体や病院に勤務されている専門職の方など関心がある方はどなたでも受講できます。

経口免疫療法を考えている方は、患者ご本人にも理解して頂きたいので、是非親子でご参加ください。

講師：中川朋子（あいち小児保健医療総合センター アレルギー科 医長）

日時：2016年10月29日（土）14：00～16：00（受付開始：13：30～）

会場：あいち小児保健医療総合センター 大会議室

申込方法：専用フォームにてお申込みください。

【申込みフォームURL】 http://www.alle-net.com/news/event_kosyukai2/

7、インターネットアレルギー大学のご案内

インターネットアレルギー大学は、アレルギー大学は日程が合わない、会場まで遠い、託児がないと受講できないという声にお応えして、インターネットを介して、在宅のままアレルギーについて学んでいただく通信教育講座です。講座は「第9期アレルギー大学 愛知会場」での講義を配信しております。アレルギーの基礎知識から、園や学校などにおけるガイドラインの解説、集団給食、食育などのアレルギー全般を各専門分野で活躍中の全国トップレベルの講師陣が熱心に伝える満足感たっぷりの講座です。コースは初級から上級までございます。1年間の受講期間中はいつでもインターネット（動画配信）で復習することができます。

この講座によって皆さんが、アレルギーに対して正しい知識を得て、ご活躍されることを願っております。

詳しい内容はこちらのパンフレットでご確認ください。

http://alle-sien-net.sakura.ne.jp/wp-content/uploads/2013/03/net_9alledai.pdf

お申し込みはこちらから

<http://www.alle-net.com/i-alledai/i-alledai08-01/>

皆様のお申し込みをお待ちしております。

8、書籍『おいしく治す食物アレルギー攻略法』大好評販売中♪

～あいち小児保健医療総合センターで、これまでに蓄積してきた食物アレルギーに対する食事指導のノウハウをまとめた一冊～

本書は、第31回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会（2014年6月28日～29日、名古屋）において発行した記念誌を、認定NPO法人アレルギー支援ネットワークから再発行したものです。伊藤浩明先生監修の下、あいち小児保健医療総合センターアレルギー科で実際に使用している資料を「資料編」と「解説編」にまとめた一冊です。

昨年11月の発売からまもなく1年。第1刷は半年ほどで完売し、第2刷入荷後も日本全国からたくさんのご注文・お問合せを頂戴しております！通常はアレルギー支援ネットワーク直販のみとなっておりますので、ご注文は下記URLよりお申し込みください。ご注文をお待ちしております。（関連学会等では書店にて委託販売をお願いしている場合もございます。）

♪ご注文はこちらから↓↓♪

<http://alle-net.com/cart/book3/cart.cgi>

【※ご注意※】

この「攻略法」は原則として、各医療機関の医師の診断と指導の下に管理栄養士が食事指導を行うことを想定して作られています。食物アレルギーの基礎的な内容を網羅した解説ではありませんので、一般的な知識は成書や研修会などで学習した上でご利用ください。

一般の方は必ず主治医の指導の下でご活用下さい。

9、防災特集 アレルギーっ子の防災

第36回「防災講座－１５：地震対策を知る（避難行動の訓練）」防災士 中根輝彦

メルマガをお読みの皆さん、こんにちは。防災士の中根輝彦です。

前は、いろいろな日常行動について避難方法の事例を紹介しました。今回は、それらについて、どうやって訓練するか考えてみたいと思います。

その前に、おさらいです。いろいろな日常行動とそれぞれの対応方法がまとまった資料について再掲します。

総務省消防庁のウェブサイト

「消防庁防災マニュアル－震災対策啓発資料－」

http://www.fdma.go.jp/bousai_manual/

項目だけ書き出してみます。

地震にあったら－屋内編－

一般住宅

- ・自宅での基本的事項
- ・寝ているとき
- ・トイレ、お風呂
- ・台所

マンション

職場

スーパー、デパート

映画館、劇場

地下街

学校

エレベーター

地震にあったら－屋外・乗り物編－

<屋外編>

住宅地

オフィス街、繁華街

海岸

川べり

山、丘陵地

<乗り物編>

運転中の場合

鉄道

新幹線

地下鉄

バス

これらの事例について、避難訓練をしようとしたら、どうしますか？自宅や職場・町内で訓練をする場合は、対象範囲（地域）や日時を決めて（＝自分たちで計画を立てて）進めることができますが、公共の場や交通機関を利用する訓練は、どうでしょう？自分たちだけでは実施することが困難ですよね。

「シェイクアウト訓練」という訓練方法を聞いたことがありますか？近年、増えてきた方法です。「ドロップ（姿勢を低く）・カバー（体・頭を守る）・ホールドオン（揺れが収まるまでじっとしている）」という身を守るための基本的な行動を、一斉に実践するものです。

愛知県では9月1日に実施されています。以下に示すサイトによると、平成28年は47万人以上の方が参加登録されたそうです。愛知県のいたるところで、9月1日正午から1分間、大勢の一般市民が、その場にじっと留まって身を守る行動をとったということです。大規模にやるメリットは、公共の場で他の機関と一緒にできること、まちなか全て訓練会場にできる、自分の都合に合わせた状況や場所で訓練に参加できる、などが考えられます。

「あいちシェイクアウト Aichi ShakeOut」

<http://aichi0901.pref.aichi.jp/>

このような大規模訓練は、何度も繰り返すことが困難ですから、機会を逃さないよう、事前に準備しておく必要があるかもしれません。特に、上記の＜屋外編＞＜乗り物編＞で紹介している状況での避難行動については、シェイクアウト訓練よりほかに、効果的な訓練は、ほとんどみあたりません。

自主防災会などの地域防災活動で実施される訓練にも取り入れて、シェイクアウト-安否確認-集団避難と繋げるなど、訓練メニューの見直しをするのもよいでしょう。まずは身を守る（＝生き残る）訓練から。消火・救助・炊き出し・避難所運営などは、生き残ることができたら、次に取り組む内容です。

防災士 中根輝彦

日々つぶやいています。

Twitter : @TeruhikoNakane

facebook : teruhiko.nakane

内容は筆者個人の考え方に基づくものです。アレルギー支援ネットワークを代表するもの、方針を反映したものではありません。

ご意見ご感想をいただけると嬉しいです。次の原稿を書く励みになります。アレルギー支援ネットワークの事務局まで、お寄せ下さい。

宛先：info@alle-net.com

10、患者会主催！イベント報告

★「平成28年度豊橋市総合防災訓練の炊き出しについて」RIN RIN♪豊橋アレルギーっ子の会 石川麻美子 ★

こんにちは。愛知県東部の豊橋市で活動をしています、RIN RIN♪豊橋アレルギーっ子の会です。私たちの会は 2011 年 5 月に発足し、6 年目となりました。今回は今年 9 月 4 日(日)に実施された平成 28 年度豊橋市総合防災訓練の様子についてお話させていただきます。

私たちが市の防災訓練に参加するようになったのは、会発足の翌年からでした。そもそも会の立ち上げのきっかけとなったのが東日本大震災だったこともあり、アレルギーっ子の防災については大変関心がありました。



(写真：会のブース)

参加 1 年目は、こちらから市の防災危機管理課に「参加したいのですが。」とお願いする形で参加させていただきました。自分たちでアルファ化米を準備し、一般の参加者や関係者に配布しました。この時は、まだまだ食物アレルギーへの配慮は全く感じられず、『原材料の表示がされていないと、食べるか食べないかの判断すら出来ない。原材料を書き出すか、使用した調味料などのパッケージなどを出しておくだけでもいい。』と啓発活動を行いました。2 年目は豚汁とアルファ化米を、3 年目はハウスの 27 品目不使用シチューとアルファ化米の炊き出しをしました。これまでは食器から食材から全て会で準備をしました。昨年度は豊橋市で県の防災訓練が実施される予定でしたが、残念な事に悪天候により中止になってしまいました。そして、5 年目の今回はカレーを作ったのですが、なんと、食器も食材も全て市で準備していただけたのです。さらに、原材料の表示パネルまで作って下さいました。特大サイズで、とても見やすく分かりやすいものでした。(カレーのルウタイプと顆粒の手配違いが当日判明し、急遽、表示を書き直しました。)



(写真：パネル)

この表示パネル、最初に防災危機管理課の担当者さんから内容を確認してくださいとメールが来たときは《えび・かに・小麦・そば・卵・乳・落花生》と何とも見慣れない順序で書かれていました。でも、「分からないなりに調べて作って下さったんだな。」と、とても嬉しくなりました。このパネルのおかげで、訓練に参加された地域の方々へのアピールもしやすく、皆さんの目に留まったように思います。また自治会の方など複数の方が「パネルの写真撮らせてください。」と、アレルギー表示への関心、また必要性を感じてくださっているようでした。今回の訓練ではアレルギー児の参加は見受

けられなかったのですが、食品関係の会社にお勤めの方や、ボランティア活動をされている方など、アレルギーに関心や関わりのある方々からお声を掛けていただくことが多かったように感じます。



(写真：炊き出しの様子)

今回、私たちの会がアレルギー対応のカレーを 100 食作り、赤十字奉仕団がバーモントカレー(乳・小麦使用)を 500 食作ったのですが、バーモントカレーについても同じようにアレルギー表示パネルを作ってくださいました。市の防災訓練に参加するようになり、ようやくこちらから言わずとも「参加されますか？」と声が掛かるようになり、5 年目にして材料の手配から原材料の表示パネルまで作っていただけるようになりました。東日本大震災や熊本地震などの災害を経験して、行政もアレルギー対応の重要性を感じていただけているのではないのでしょうか。

豊橋市の備蓄は 30 万食だそうです。クラッカー(小麦使用)、ラーメン(卵・小麦使用)、缶入りパン(卵・乳・小麦使用)、乾パン(小麦使用)、乾燥かゆ(乳使用)、アルファ化米などだそうです、全体の 18%しかアレルギー対応(27 品目不使用)でないと聞いています。これらを賞味期限切れの買い替えに合わせて順次アレルギー対応品に移行し、平成 30 年度までに 5 割を目指しているそうです。ちなみに、粉ミルクは備蓄している 160kg のうち 12kg がアレルギー対応品(MA-1 やエレメンタルフォーミュラ)と言うことです。

このように行政も食物アレルギーに配慮して対応をしてくれていますが、災害時に市の備蓄のみで食物アレルギー疾患のある方に十分配布されるということではありません。まずは、自助努力として自己の備え。そして、共助の大切さを肝に啓発活動をしていきたいと思います。

会では月に一度の定例会の他、アレルギー対応食品の試食会やクッキング、地域の先生方をお招きしての勉強会、防災に対する取り組みなどを行っております。その様子をブログにて紹介しておりますので、是非一度のぞいてみてください。

また、当会主催の食物アレルギー勉強会「第 4 回 みんなで知ろう食物アレルギー」を 11 月 20 日(日)午後開催いたします。アレルギー専門医 村田浩章先生の講義と、小児アレルギーエドゥケーターによるスキンケアの実践、行政の食物アレルギーに対する取り組みについての報告などを企画しております。詳細はブログにて告知していきますので、是非ご覧いただき、勉強会に足を運んでいただけたら嬉しいです。

RIN RIN♪豊橋アレルギーっ子の会

Blog: <http://rinrintoyohashi.dosugoi.net/>

Email: rinrintoyohashi@yahoo.co.jp

11、おすすめ♪勉強会・イベント情報のお知らせ

★「岐阜県内5カ所で行われるアレルギー患者家族の交流会について」

NPO法人キッズスクエア瑞穂 理事長 梶浦良子★

アレルギーへの理解を広げるために、アレルギー児 親の交流会を岐阜県内5カ所（各務原・山県・岐阜・羽島・大垣）で開催！

全会場に、アレルギー支援ネットワークの中西里映子さんが参加！参加費無料！

この活動は、岐阜県子育て支援活動活性化促進事業です。

中西さんの講義や、同じ悩みをもつ皆さんとの情報交流の中で、スキンケア・お医者さん情報・除去食情報・入園入学準備etc

アレルギーに関する最新の情報がゲットできます。

どの会場に何回参加していただいてもOK！

もちろんお子さん連れでもOK！

子育て支援に関わる方もぜひご参加下さい。

～中西里映子さんプロフィール～

認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク常務理事

自身のお子さんもアレルギーがあったことから、同法人でアレルギー患者会の支援や、アレルギー大学などの事業に尽力。アレルギーについて、わかりやすく話していただけます。

★各会場定員あり。先着順でお受けしますので申込みをお願いします。

【開催日と会場・申込み先】

- 各務原市 10月21日(金) 10:00～12:00 ふえりーちえ
(各務原市鵜沼朝日町3-116-1 各務原子ども劇場事務所内)
TEL/FAX (058) 370-5893
Email: npokkg@agate.plala.or.jp
- 山県市 11月3日(木祝) 10:00～12:00 おやこYYひろば
(山県市高富1196-1 岐北厚生病院西向かい)
TEL/FAX (050) 1537-8718 Email: kabasfam@ybb.ne.jp
- 岐阜市 11月18日(金) 10:30～12:00 地域コミュニティセンターniconico
(岐阜市正木中マーサ21北館4階)
TEL (058) 295-3420
- 羽島市 11月22日(火) 10:00～12:00 子育てひろばかみなりくん
(羽島市正木町坂丸2-97 かみなり村内)
TEL (058) 393-2608 FAX (058) 393-2772
Email: kaminari5656@volavola.org

大垣市 12月17日(土) 10:00～12:00 キッズピアおおがき
(大垣市宮町1-1)

★大垣会場の申込みはキッズスクエア瑞穂へ！

TEL/FAX (058) 326-2236 Email: kids.sq@dream.com

各会場で、災害時用の救給カレー（公益社団法人全国学校栄養協議会 開発）の試食ができます。常温保存できてご飯も入っているおいしいカレーです。もちろん、アレルギー特定原材料等27品目すべてを使用していないものです。

主催：NPO法人キッズスクエア（瑞穂市馬場春雨町1-4 9）

058-326-2236 kids.sq@dream.com

11、おすすめ♪勉強会・イベント情報のお知らせ

★★「防災の勉強会のお知らせ」守山アレルギーの会 富永真記子★★

東海地方に大きな地震が来る日は近いと言われています。

4月の熊本地震を受けて、真剣に考えなければと改めて感じた方は多いと思います。

実際に災害が起こってしまったときに、どのように自分を、そして大事な家族を守ったら良いのでしょうか。

今、できることはなんでしょうか？この機会にしっかり学びたいという方、ぜひご参加ください！

飲み物の紙容器を使った笛の作り方も教えていただく予定です。

実際に作ってみましょう！

【日時】平成28年10月6日（木）10:00～12:00

【場所】守山保健所 2階集団指導室（守山区小幡1丁目3-1）

【講師】鷺見 修さん（「防災ボラネット守山」代表）

【参加費】100円

【定員】40名（要予約）

お申し込み締め切り10月2日（明日です！このメールを見た後すぐにどうぞ！）

託児はありませんが、お子さんの参加もOKです。

<お問い合わせ・お申し込み>

守山アレルギーの会 moriyama-alle@excite.co.jp

お申し込みは、氏名・お住まいの市区・参加人数・連絡先をお知らせ下さい

11、おすすめ♪勉強会・イベント情報のお知らせ

★★★「小・中学生のこどもを持つ親の交流会」★★★

今まで名古屋市内で行われていた「小・中学生のこどもを持つ親の交流会」を、今回は三河地域で開催！！

日時 10月26日（水）9:30-12:00

場所 刈谷市民ボランティア活動センター

参加費 無料

（患者会に所属をされていない方は、資料のコピー代のみ必要）

アレルギー疾患を持つ子どもたちが、小学生になると、食事作りやスキンケア、喘息のコントロールなどとは別の悩み事がでてきますね。

お友達にどのように説明をしたらいいのか・・・

山の学習や修学旅行はどのような準備が必要なのか・・・

免疫療法をしたいけれどこどもにどのように説明をしたらいいのか・・・

自分の命を自分で守ることをどのように教えたらいいのか・・・

食べることができるようになって食べたがらないこどもにどのように接したらいいか・・・

小学校の先生方との話し合いを上手にする秘訣は・・・？

そんな悩みを共有し、解決の糸口をつかむために交流会に参加をしませんか？

患者会に所属をされていない保護者の方も、どなたでも参加をしていただくことができます。

資料準備のため、info@alle-net.com

まで、お名前・連絡先・居住地 をご記入の上、お申し込みください。

お申し込みの締め切りは、10/20(木)までです。

初めての方も、どうぞ気兼ねなくご参加ください。

アレルギー支援ネットワーク

中西里映子

12、「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーのお子さんの事、アレルギーかな？と、お悩みのある方、スキンケアや食事の事、園や学校についてなど、私たちと一緒に話をしませんか？どこの交流会へも参加可能です。

交流会を実施している区外、或いは近郊の市町にお住まいの方の参加やお問い合わせも多く、ご要望の多いところから順に交流会の開催準備をすすめています。

会に参加ご希望の方は、アレルギー支援ネットワーク事務局までお気軽にお問い合わせください。皆さまのご参加をお待ちしております。

【対象】0歳～中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】各交流会に確認して下さい。

【各地の患者会】

<http://www.alle-net.com/network/network04/network04-03/>

【アレルギー支援ネットワーク事務局】

電話：052-485-5208

URL：<http://www.alle-net.com/>

13、Gooddo（グッドゥ）でアレルギー支援ネットワークを応援して下さい！！

アレルギー支援ネットワークは、ソーシャルグッドプラットフォーム gooddo（グッドゥ）に参加しております。

<http://gooddo.jp/gd/group/allesien/?md=fb>

上記のリンクから gooddo のアレルギー支援ネットワークのページに行き、毎日ぜひ『応援する！』をクリックして下さい。（クリックにお金はかかりません）

クリックによって 20～1000 ポイントがアレルギー支援ネットワークの支援のために加算され、ポイントに応じて応援企業から支援金が「アレルギー支援ネットワーク」に届けられます。

他にも gooddo 内ではいいね！やお買い物でもご支援頂く事ができます。

ぜひ「応援する！」「いいね！」でご支援、ご協力をお願いいたします！

<http://gooddo.jp/gd/group/allesien/?md=fb>

▼gooddo（グッドゥ）とは？

自分の応援したい社会貢献団体を、誰でも、今すぐ、簡単に応援することができるソーシャルグッドプラットフォームです。

ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

お問い合わせ：info@alle-net.com

=====

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは

asn-mailmagazine@alle-net.com（メルマガ編集部）までお願いします。

また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。（メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。）

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、メルマガ編集部
asn-mailmagazine@alle-net.com までお尋ねください。

なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

☆☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに関することなんでも OK です。ぜひお気軽にどうぞ☆☆

★みなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

発行/編集 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0042 名古屋市中村区大秋町 2-45-6

▽TEL：052-485-5208 ▽E-mail：info@alle-net.com

☆◆-----